



図3. 第5回採集会参加者のサイン.

(大木裕 横浜市青葉区)

段取り中の国内未記録属のコメツキダマシ *Eucnemis* sp, および剣山で3頭目と思われるシコクオオアオハムシダマシ(死体)をスーピングで採集できて、かなりの成果であった。

静かな湖畔の宿で食事を楽しんだ後、星月夜の下で深夜の2時頃まで会話を楽しむ人達やなぜか蛾を採集する人もいて忘れられない“剣の夜”であった。

鞘翅学会時代から、20年近く採集例会の幹事を担当させていただいたが、来年度からは新しい幹事にバトンタッチし、調査観察会として新しい趣向が試みられるものと考える。

自然保護委員会報告

11月23日、倉敷市における大会時に情報交換などを行い、これを基にして電子メールによる委員会を開催した。主な内容は次のとおりである。

- ・東京都RLでCRにランクされているオオヒョウタンゴミムシが伊豆諸島式根島において、駐車場に設置された集水枡に落下し、多数が斃死している。改善策を都環境局担当課に要請中。
- ・各自治体の条例による採集規制については引き続き情報を集める。さやばねNSに掲載済み分は学会HPにアップした。その後では宮崎県があるが、指定種に甲虫は含まれていない。
- ・本年度よりヤシャゲングロウ保全のための環境省モデル事業が始まり、保科・北野・斉藤が検討委員会委員となった。
- ・環境省RL昆虫分科会委員は、甲虫分野では丸山が留任、荒谷・北野が新たに加わる(大原・高桑は退任)予定。
- ・静岡県浜松土木事務所による防潮堤整備は、海浜性昆虫および後背湿地の水生昆虫の保全に向け研究者側の意見を取り入れて設計が進んでいる。ルートが変更され、新たに池環境も創造する予定。
- ・浜松市から水窪経由で飯田市に抜けるバイパス道が計画されている。水窪は甲虫の有名産地であり、影響の有無について注意していきたい。
- ・石垣市が策定中の採集規制問題は、市当局あてに科学的根拠に基づいた、また保全を目的としたリーズナブルな検討を促す文書を提出する。加えて、石垣島固有種リストおよび八重山産で石垣島から記録のない種のリストを作成し、石垣島での甲虫相解明がまだまだ不十分であることを訴える。

(文責：高桑正敏)



Kitano, T., 2014. Taxonomic notes on the genus *Egleis* Mulsant, 1850 and a description of a new subgenus in the genus *Illeis* Mulsant, 1850 (Coleoptera: Coccinellidae). *Studies and Reports Taxonomical Series* 10 (2): 489–494.

日本のキイロテントウ(奄美・沖縄亜種を含む)およびアジアの近縁4種に対して新属 *Kiiri* を提唱している。

本論文は、*Studies and Reports Taxonomical Series* というチェコの雑誌に掲載されている。この雑誌は2005年にできた比較的新しい雑誌で、甲虫類の分類や分布に関する論文が多く掲載されている。下記のHPで論文をだれでもダウンロードできる。

<http://www.fld.czu.cz/studiesandreports/published-volumes.html>

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)